

クラス番号	909	担当教員名	高藤 真弓
テーマ	高齢者のくらしを支えるソーシャルワークの理解		

ゼミナール概要

1) 目的と内容

- ①高齢者のくらしを支えるものは何か、家族や地域社会が担っている役割と、医療・福祉専門職が果たしている役割について考えていきます。
- ②社会福祉実践における自分自身の問題意識を明確化し、ソーシャルワーク実践者としての解決方法の基礎を習得します。

2) 授業計画

- ①前期のゼミでは、現代社会における高齢者のくらしと生活課題について、テキストや新聞記事等をもとに検討します。またゲスト講師によるソーシャルワーク実践紹介の機会を設けます。
- ②問題意識を明確にし、自ら調べて理解し、他者に報告するためのスキルを獲得します。
 - ・図書館を活用して、文献や論文、資料の検索方法を習得する。
 - ・資料を読み込み、まとめるちからを獲得する。
 - ・レポート作成の基礎知識を学ぶ。
 - ・ワード・エクセル・パワーポイントを用いたプレゼンテーション資料を作成するスキルを獲得する。
 - ・ゼミ報告を通して、プレゼンテーションスキルを向上する。
 - ・ディスカッションスキルを向上するための質問や回答方法を獲得する。
- ③ゼミの後半では、対象者を理解し、ソーシャルワーカーの活動について体験的に学ぶために、テーマごとにグループ討議を重ねてフィールドワークを行います。
これらの体験を通して、専門演習に向けた研究方法の基礎を習得します。

3) フィールドワークの方法と対象地

- ①高齢者福祉施設、地域包括支援センター等の社会福祉実践現場
- ②尾北医師会地域ケア協力センターの活動
ゼミ担当教員の勤務先である丹羽郡大口町の尾北医師会地域ケア協力センターで、医療と福祉領域に関わるソーシャルワーカーの実践を体験的に学びます。生活相談員や医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員等の社会福祉領域における専門職の役割を理解することが目的です。

4) 留意事項

ゼミ開講日以外にもフィールドワークに参加してもらうことがありますので、ご了承ください。

担当教員からのメッセージ



みなさんのこれまでの学習は、「正しいものを選ぶ」「答えを見つける」ことが中心だったのではないのでしょうか。しかし社会福祉実践とは、一人ひとり違う生活を営み、人生を歩んでいる人々に関わっていくということです。これからのみなさんには、自分で問をたて、調べて、考えていく学習方法を身につけることが求められているといえるでしょう。

人を理解するためには、まず自分自身を育て、ゆたかな感受性とそうぞう（想像×創造）する力を養うことも大切です。好奇心を大切に、「なぜだろう」と考えて調べてみる習慣を身につけることから始めていきましょう。